

<認知症対応型共同生活介護用>

<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1471500304
法人名	社会福祉法人 誠幸会
事業所名	グループホーム 泉の郷仙石原
訪問調査日	令和2年8月25日
評価確定日	令和2年10月12日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和2年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471500304	事業の開始年月日	平成15年11月1日	
		指定年月日	平成15年11月1日	
法人名	社会福祉法人 誠幸会			
事業所名	グループホーム 泉の郷仙石原			
所在地	(250-0631)			
	神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1285-368			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成2年8月1日	評価結果 市町村受理日	令和2年11月26日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「かゆいところに手が届く介護」は変わらず実践しています。令和2年3月に開所した新ユニットの「ひめしゃら」では、平成30年8月より計画に関わらせて頂きましたが、高齢者グループホームでは珍しい3つのフロアで構成されたステップフロアユニットになります。それぞれのステップユニットはエレベーターやリフトも備えておりますが、利用者様にも階段を使って頂くなど運動機能の維持にも努めております。また10畳ほどの居室も設け、ご夫婦での入居も可能とし、広いニーズに応えられるよう考えています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和2年8月25日	評価機関 評価決定日	令和2年10月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は社会福祉法人誠幸会の運営です。同法人は横浜市区に本部を構え、横浜市内を中心に「高齢者介護・障がい者支援・保育」の3本柱を軸に様々な福祉サービスを提供しています。高齢者介護では特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、軽費老人ホーム、グループホームなどの入所系サービスから、ディサービス・訪問介護、訪問看護、居宅介護支援などの在宅系サービスを展開しています。障がい者支援ではグループホーム、居宅介護、就労継続支援B型のサービスを提供しています。保育事業では認可保育所、企業主導型保育園を展開しています。ここ「グループホーム泉の郷仙石原」はJRまたは小田急線「小田原駅」からバスに乗り「小塚入口」で下車して徒歩5分程の場所にあり、隣には「箱根リハビリテーション病院」や「介護老人保健施設」もあります。また、緑豊かな箱根の山々に囲まれていることから、四季折々の自然を楽しむことが出来ます。

●昨年までは1ユニット9名のグループホームでしたが、新たに1ユニット増設し、2ユニット18名のグループホームとしてリニューアルしました。管理者は、職員の人員配置やユニットの体制づくりに尽力し、各ユニットにリーダーを配置し、ユニットリーダーを中心に事業所では、利用者が何を求め、何をしたいのかを感じ取って必要な介助を行うとした「かゆいところに手が届く介護」に注力して取り組んでいます。これまでは管理者がユニットリーダーを兼務して行っていましたが、職員の中からユニットリーダーに指名したことにより、より一層の責任感と士気意欲が高まるなどの相乗効果も生まれ、今後は管理者として全体を見ながらリーダーとのコミュニケーションを図りながらサポートして行きたいと考えています。

●箱根町にはグループホームが少ないということもあり、今年の3月から新たに1ユニット増設して定員18名のグループホームとしてリニューアルしたということもあり、今後は箱根町の高齢者福祉を支えていく役割を担っていきたくと考えています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム泉の郷仙石原
ユニット名	全体

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ひたむきに「しあわせ」の「和」をひろげ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくる。また6つの規範を守ることにより基本理念を尊重し、社会貢献に努めています。	法人の基本理念「ひたむきに幸せの和をひろげ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくる」を事業所の理念として踏襲し、各ユニット及び事務所内に掲示し、朝の申し送り時に唱和して理念の浸透を図っています。また、法人の6つの行動規範を遵守することで法人の基本理念や方針に沿ったサービス提供に努めています。事業所では「利用者が何を求め、何をしたいのか」を感じ取って必要な介助を行うとした「かゆいところに手が届く介護」に注力して取り組んでいます。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の世帯も減少を続ける中に加え、コロナウイルスによる自粛もあり、自治会の総会等集まりは控えておりますが、地域の定期清掃には参加させていただいております。日常的にも挨拶は欠かさないように心掛けております。	現在はコロナウイルスの影響により活動は自粛していますが、自治会に加入し、道路清掃・枝打ち(年1回)・町内バーベキュー大会などの行事に利用者をお連れして参加しています。また、町立中学校の生徒体験学習の受け入れ、ハーモニカ演奏、バンド演奏、演歌歌手、太鼓打ちなどのボランティア関係なども受け入れています。年1回の納涼祭にも地域の方々に参加を呼びかけ交流を図っています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	箱根町の高齢化率も進む中、土地柄もあり、まだまだ家族は認知症の高齢者を隠す傾向にあると思われれます。今後は真剣に事業所の力を活かせるように、もう少し柔軟にわかりやすいアピールで地域貢献に努めていくことだ考え、今後大きな課題のひとつでもあると思っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス渦にあり、感染予防の為外部との交流も避けておりますが、電話等で報告や意見等お伺いして、今後のサービスの向上に努めております。	町役場担当者・社会福祉協議会職員・民生委員・町内会代表・家族・成年後見人の参加で2ヶ月に1回開催しています。事業所の現状や活動報告の後に質疑応答の時間を設け、参加者から意見や提案を聞いています。町役場担当者や社会福祉協議会職員からは町の福祉に対するニーズや動向について情報をいただき、サービス向上に努めています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナウイルスによる自粛もあり、なかなか会議や情報交換の場には出席できませんが、市町村関係者や協力関係者とは電話等で連絡を密にとり意見交換をさせて頂いております。	箱根町からの研修や講習会の案内は法人本部から届く仕組みとなっておりますが、直接箱根町から案内も送られてきています。研修や講習会に職員が参加した際には、研修報告書を提出していただき、直近の職員会議で情報を共有しています。また、町民向けに行っている介護教室に管理者が参加し、介護相談や福祉の情報を発信しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠を含め、身体拘束はありませんし、身体拘束の必要性がある時は違う方法をとる工夫をしております。しかし言葉による声掛けが気づかないうちに身体拘束に当たる言葉になっていることもあり、研修のひとつに取り入れております。	身体拘束・虐待に関するマニュアルや指針は法人として作成されたものを事務所に置き、いつでも閲覧できるようにしています。事業所内で年2回身体拘束・虐待について研修を行っている他、運営推進会議の中で身体拘束適正化委員会を開催し、マニュアルや指針、資料を基に事例検討や話し合い、自己点検による振り返りなどで周知しています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については自事業の研修で年2回取り入れております。内容的には心理的虐待が主になっておりますが、言葉かけには十分注意をしてもらう必要があるかと思っておりますとともにその場での注意を心がけております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や一部の職員は成年後見人様との話し合いや相談等でいろいろ学ぶ機会もありますが、今後は今以上に日常生活自立支援や成年後見人制度を利用される方が増えると予測されるので、すべての職員が制度を学ぶ機会を増やさなくてはいけないと思っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては先を見越した説明を交えながらも説明、理解、納得をして頂く中、利用者様の不安を引き出す努力もしております。今後契約書や重要事項説明書の改訂も行われることから、自身への書面の理解を深めなければいけないと思っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族やご利用者様には日ごろから意見や不満等を引き出さないといずれ大きな苦情になると考えております。今は意見や要望等はコロナウィルスの為、ご面会や運営推進会議が出来ない為、直接意見等は頂けませんが、電話での話の中で皆様の情報や意見を聞き、運営に役立てています。	以前は、家族向けアンケートを実施していませんでしたが、新たに家族向けにアンケートを取り入れ、意見や要望の抽出に努めています。家族からの意見や要望は運営推進会議報告書にて、内容と取り組みに対する回答を家族に報告しています。個人的な要望については、個別に連絡して伝えています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月リーダー会議を行い、その後ユニットに持ち帰り職員の意見を聞かせて頂いております。時には法人上司が来苑されたときには、直に相談や意見の提案等でモチベーションのアップに繋がっております。	毎月実施しているリーダー会議の中で、各ユニットから挙げた意見や提案を共有し、協議した結果を各ユニットに持ち帰り全職員に報告しています。管理者は出勤時には各ユニットをラウンドし、職員の顔を見ながらコミュニケーションを図ることで、わずかな変化も見落とさないよう留意し、必要に応じて個別に話を聞く機会を設けています。時には法人本部から上司が来訪し、現場の意見を吸い上げることでモチベーションの向上につながっています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員各自に役割をもって意欲的に勤務して頂いております。本年度3月より2ユニットになり、不具合場所も大規模に整備して頂いております。給料面においても今まで以上に制度の改訂、アップに繋がっていると思いますが、職員不足がまだまだ課題となっております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部内部研修、外部研修、自事業内部研修と昨年度まで研修の場は多く提供されておりましたが、現在はコロナウイルス感染防止のため、自粛しております。今後少しずつ状況をみて参加できるところから進め、トレーニングしていきたいと思っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年4回の介護保険連絡会には必ず参加させて頂き、各事業所の方々との交流を深めています。また地域密着の運営推進会議では、各事業所の方々の行き来をし、サービスの向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアプランを通し、ご家族様からの要望や相談を受けています。ご家族様との関係は、良い話だけでは信頼関係は築けなく、現実や先の話も織り込みながら親身に話すように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の今までの生活歴を把握したうえで、話しかけや関わる時間を多く持つようにしており、また傾聴することにも重点をおき、一人ひとりに合った声掛けや対応をするというような、あたりまえの事を守れば自ずと信頼関係が出来き、ご本人の安心にも繋がると考えております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今ご本人様が何処でどう暮らすのがご本人様の為になるかを常に考え、最終的にグループホームでの生活を選んで頂い以上、最善の方法を常に考えています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する者、介護される者と区別するのではなく今ここで共に暮らすことで傾聴やごまかしの無い話でお互いの信頼関係を築くように心がけております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在の職員不足のカバーも含め、ご家族様にも協力を呼びかけております。ご家族のご面会では普段職員に見せる面と違う面も多く見られ、やはり家族だなと思うこともあります。ご家族には行事等にも参加して頂き、みんなで良い関係を築ければと考えます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や通院等は極力、ご家族様をお願いしております。外出ではご自宅に寄るようにお願いをしておりますが、現実的にはなかなか難しいところもあり、ご家族様のご理解も必要と考えております。ご家族様対応の難しい場合はご本人のご希望で選挙なども同行しております。	現在はコロナウィルスの影響もあり、面会などは控えていただいておりますが、以前は月に5組程の家族の来訪がありました。人員の関係もあり、個別に馴染みの場所にお連れしたりすることは難しいですが、家族に説明して理解を得られるように努めと共に、家族の協力も呼びかけています。また、事業所の納涼祭やボランティアによる演奏会が行われる時には、招待状を送付して来訪を促しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ゲーム等はできなくても、歌・音楽は利用者みんなをひとつにしてくれています。当然ながら職員の橋渡しも必要な場合も多々ありますが、利用者同士のコミュニケーションが少しでもとれるように努力しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現実的にはグループホームを何らかの事情で退居されても、そのまま当施設に住所を置かれている方もおり、当然郵便物も届き、連絡することで、お互いの情報を交換することもでき、その結果つながりも持っています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	画一的なケアではなく、利用者一人ひとり歩んできた歴史や生活スタイルも違うので、ご本人やご家族様より情報を得ながら、個別化を図るようにしています。	入居にあたり管理者が本人や家族、在宅時のケアマネージャと面会し、過去の生活歴や既往歴、ADLやIADLなどの情報についてヒアリングを行い、事前面接報告書を作成しています。事前面接で得られた情報を参考にしながら日々の係りや会話の中で本人が発した言葉や職員の気づき個人ノートに記載し、情報を共有しながら本人の思いや意向に沿った支援に努めています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様やご家族様より趣味や得意とすることなど情報を得ながら、居心地のいい環境づくりやいつまでも馴染みの暮らしができるように持ち物等で居住環境を整えるように配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活がその人にとって充実し、満足のできる一日になるようにやりたいことやできる事への拡大を図りながら、共に楽しむ生活づくりができるようにケアプランにも繁榮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランのチェック表やケアカンファレンス等で状況の変化に応じ、個別性に配慮した目標提示がされているか、話し合いをしながら再確認をしております。	初回の介護計画については、事前面接報告書を基に介護計画を作成し、事業所での暮らしぶりやADL・IADLなどの情報収集に努め、安心して生活を送っていただけるよう、リスクの排除や不安の解消に努めています。カンファレンスを行う前には介護日誌や個人情報記録も踏まえ、職員から情報を収集し支援方法やケアの課題を抽出して介護計画を見直しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に気づきの報告書をあげ、それに基づきケアカンファレンスをしながら状況の変化に対応、見直しをしているとともにケアプランチェック表でも介護計画の見直しにやっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	大きな状況の変化や問題が生じた時は、会議を開催してご家族様の意向や状況等を話し合い、常に個別性に配慮できるように細やかに取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全で心豊かな暮らしができるように、個人の持っている生活技術を活用すると共に、身心の力を発揮できるように、少しでも可能性を引き出す生活づくりの支援をしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との信頼関係には、先生を立てつつ、いろいろな相談に応じて頂いております。また、訪問歯科や訪問看護との橋渡しも記録に残し努力しております。入居者様の中には協力医の往診を断られる方もいますが、ご本人やご家族様の希望にも最大限応えられるようにしています。	入居時に事業所の協力医療機関について説明し、協力医にすることのメリットを伝えたいと切り替えていただくようにしていますが、まれに家族対応で従来のかかりつけ医での受診を継続している方もいます。仙石原永井医院を主治医として毎月往診に来ていただいております。利用者の状態によっては紹介状を書いていただき、総合病院で受診しています。歯科は希望者のみ契約しており、必要に応じて治療や口腔ケアを受けています。また、週1回同法人の訪問看護ステーションから利用者の健康管理があります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師との報・連・相も記録を残し、職員間で共有できるようにしております。また、看護師からの目線と介護職員の目線の違いなどで、お互いの知識を深めあうことが出来ていると思います。また、訪問看護師と職員との年2回、会議の時間を持っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療関係者とは営業も兼ね、常に関係づくりに努めています。入院に関しては入居者様が今どこで治療やリハビリを受けるのが相応しいか、常に考えております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当施設では看取りを行うことが出来ないため、入居前からご本人やご家族様には重度化や終末期に関して、十分な説明をしております。また、入居者様が今どこで生活を送ることが相応しいかもご家族様には説明をしております。	契約時に重度化した場合や終末期における対応、事業所では看取りを行うことができない旨を納得していただいたうえで入居していただいています。事業所は一般の個浴であり、機械浴などの設備が整っていないことから、入浴支援が困難となった場合は重度化の目安の一つとして判断しています。重度化した際には、家族との話し合いの場を設け、他施設や療養型などの転移を薦めています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や初期対応に関しては法人内での研修にも盛り込んでおります。主治医からも入居者様それぞれあり得る急変や注意も頂き、対応できるように努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対応については、町とも協議し災害マニュアルを作成しております。町内会も含め食材備蓄も当然ながらしてあります。また入居者様の薬についても10日間程の余裕を持たせております。当施設は箱根町との契約で箱根町災害緊急避難場所に指定されております。	箱根山の火山活動の関係もあり、災害時における対応マニュアルは町役場と協議して作成しています。防災訓練は年2回行っており、防災設備会社の立ち合いの下に昼夜を想定して実施しています。また、町内会の訓練には管理者が参加していますが、今後は管理者のみならず、職員の参加も必要と考えています。備蓄品は1週間分の水や食料の他、懐中電灯、ヘルメット、ラジオ、衛生用品を準備しています。さらに、薬についても10日分程の余裕を持って処方していただいています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりとの信頼関係を築きながらも、取り巻く状況や行動をよく理解して今その人に合った言葉かけをするように努めております。	入職時には、誠幸会の職員としての心構えや接遇・マナー、介護技術に至るまで様々なことが網羅された「誠幸会職員の皆さんへ」という心得書が配布され、それを基にオリエンテーションで学んでいます。また、年間研修でも人格の尊重や権利擁護について学び、理解を深めています。研修の場のみならず、申し送りや雑談の中でも管理者から話をすることで、常に人格を尊重したケアに努めています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりその人に合ったコミュニケーション方法を取り入れながら、話題の中でも自己決定ができるように支援しております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その時の状況や様子を見ながら、その人が望むことへの支援と一人ひとりに合ったペースを大切にしながら過ごして頂いております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じた服装やご自身のご希望の服装を選んでいただき、身だしなみに気を付け、汚れた時は着替えて頂き清潔にも気をつけております。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆様で作り上げた食事をご自身の力で常食で味わい楽しい食卓を作り上げたいと思いますが、最近では食事形態も変わり、職員不足からも以前に比べて食事の質が低下していると感じております。食事に関しては大きな課題と受け止め改善に努める努力をしております。	以前は、業者から発注した湯銭の物を使用して食事を提供していましたが、現在は業者からの発注を止めて、職員が交代でメニューを考えて職員が調理して手作りの食事を提供するようになりました。テラスに設置しているプランターで季節野菜を栽培し、収穫した際には食卓に並べるなど、食事からでも季節感を感じていただけるように支援しています。また、月1回は外食やテイクアウトを利用して、普段とは違った食事を楽しんでいただけるようにしています。現在は5名の方にテーブル拭きやお盆拭き、食材のカットなどを手伝っていただいています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全量召上って頂くように声掛けを多くしながらも無理強くない見守るようにしております。また、偏りのないように栄養士や看護師からも意見を聞き、メニューの工夫もしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科のドクターや歯科衛生士からの助言を頂き、口腔内の衛生、ケアに努めております。歯ブラシや義歯ブラシなどは訪問歯科で用意、管理して頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限り、リハパンやおむつを使用しない自然体で過ごせるように排泄リズム表を確認しながら、トイレにお誘いして自立排泄を促がしております。また、パット使用者であっても一人ひとりの排泄リズムをみながらトイレへの誘導を行い、排泄を促がしております。	自立している方も含め、利用者全員分の排泄状況を排泄リズム表に記入して全員の排泄パターンの把握に努め、個々のリズムに合わせてトイレ誘導を行い、トイレでの自立排泄に向けた支援を行っています。トイレ誘導を行う際には声の大きさや声かけの仕方にも留意し、羞恥心やプライバシーを損ねることの無いよう心がけています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動は難しくなって来ておりますが、それぞれできる動きは行って頂いております。食品では個々に合ったオリゴ糖や牛乳、ヨーグルトなどを使っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様によっては、男性職員の介助が必要となることがあり、職員の都合での入浴が決められることもありましたが、現在はユニットバスの改修、手摺やシャワーチェアも用意され、安全でご希望に沿った入浴が出来ております。	週2、3回の入浴を基本とし、大まかな時間帯を決めていますが、その時間帯の間で利用者の意向を尊重して入浴支援を行っています。どちらのユニットにの浴室にも手摺やチェアは完備されており、重度化した方であっても、座位がとれる方にはチェアを活用して湯船に浸かっただけのよう支援しています。また、入浴介助にあたる職員は同姓での対応を基本としていますが、利用者の体系などにより男性職員が行うこともあります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	以前は皆さんでレクをすることが最優先と考えておりましたが、現在は個々のペースを尊重つつ生活を送れるようお手伝いをさせて頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬についてはまずは誤訳についての責任の重さを理解してもらっています。常に1年から2年ごとに2名の薬担当者の役割を持ってもらい、主治医の指示、連携に正確に答えられています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	四季を感じて頂き、時には非日常的なイベントを常に考えておりますが、役割の面では難しくなっております。気分転換に関しては外部からの提案も参考にさせて頂き、ウッドデッキを活用し、温泉での足湯や女性にはネイルやフェイスパックが好評になっております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出に関してはご家族の協力が出かけることが出来ておりますが、それでも一部の方々に、まだに満足にいく支援が出来ていないと反省をしております。「外出は無理だね」という固定観念を変えていく必要がまだまだあると思っております。	日常的な外出支援は家族の協力も得ながら出かけている方もいますが、それ以外の方についてはテラスに出て外気浴や事業所周辺の散歩にお連れしています。毎年、花見やクリスマスイルミネーションなどの季節の外出行事も計画して季節感を感じていただけるように支援しています。事業所の周辺は多くの山々に囲まれており、テラスや玄関先でも四季折々の自然を楽しむことができる環境下にあるため、気分転換を兼ねて玄関先で昼食をとることもあります。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在一名の入居者様が金銭を所持し、外出の際の買い物や通販を利用しております。高価な通販も利用することもあり、支援は欠かせないと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りはほとんどありませんが、届いた手紙、年賀状はその方に読んで差し上げております。その上では電話でのやり取りには支援させて頂いております。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のスペースは常に清掃や消毒を実施し、居心地の良いスペースをと心がけています。掲示物も四季に合わせて変更し、それぞれ四季を感じて頂くように努力しています。またウッドデッキでは気軽に外気浴もでき、家庭菜園を行い、皆様にも土を触って頂いております。課題は安全のためにも整理整頓が維持できないことにあります。	共用部は臭気、室温・湿度に留意し、壁には季節感を感じられる装飾品やレクで作成した作品を飾り、快適な空間になるように心がけています。また、床暖房が完備され、家具などは利用者の動線の妨げにならないよう配置され、手摺も利用者の腰の高さに調整され取り付けられており、利用者にとって生活しやすい空間作りがされています。窓から見渡すことのできる山々は壮大で、四季の移り変わりを感じることができます。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	午前中は皆様定席で過ごされることが多いと思います。午後からは思い思いの居室で過ごされる方もおりますが、そのまま残られた皆様は職員の橋渡しでテーブルを囲み思い思いのお話をされることもあります。また、ユウチューブで懐かしい映画を楽しむ方もおります。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的にはすべての物を自宅から持参して頂いていますが、現在は家族に相談し、全室電動ベッドに入れ替えさせていただいております。それぞれの居室には誕生日会で作った入居者様の名前、生年月日、年齢の書かれた絵を貼らせて頂いております。	居室には介護用ベット、クローゼット、エアコンが完備されており、それ以外の家具や寝具などは、自宅で使用していた物を持ち込んでいただくように伝えてあります。その方にとって馴染みの物や思い出の品を極力持ち込んでいただくことで、落ち着いて過ごせる居室作りができるよう支援しています。以前はリビングで過ごされる方が多くいましたが、現在では居室で過ごされる方も増えてきていることから、その方にとって居心地の良い居室となっている様子が伺えます。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様それぞれのできる事の発見をカンファでも話し合い、できないことへのお手伝いをさせて頂いております。今入居者様が何を求めているのか、「できることは自分でやって下さい」と勘違いしないことが大切だと思います。			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム泉の郷仙石原

作成日

令和2年11月26日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	令和2年3月に親ユニット（ひめしゃら）が開所となり、急激な職員の増加と派遣職員の増加も合わせ職員間のコミュニケーション及び考えの不一致が現れている。	職員のコミュニケーションがうまく取れなければよいサービスは無理と考え、事業所として同じ目標を立て良いサービスに繋げる。	令和2年より法人理念も「ひたむきに幸せの和をひおげ、だれもが笑顔で暮らせる社会をつくる」にかわり、今一度ひも解いて志を整える。	4か月
	全般	コロナウイルス感染予防にて様々な制約が出来てしまっている。	制約回避の代替案を積極的に取り入れる。	様々な事業所と情報交換を行い、代替案を提案していく。	4か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム泉の郷仙石原
ユニット名	ひめしやら

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今年度は、ひたむきに「幸せ」の「和」を広げ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくると見直されています。基本理念は、誰もが「幸せを感じられる地域作り利用者一人ひとりの「幸せ」の追求職員が「幸せ」働く事のできる職場づくり。行動範囲は6つの規範を守る事により基本理念を尊重し、社会貢献に努めます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウィルスの為、活動範囲が制限された為、月に1回の清掃は参加させて頂き、常会は回覧板などの連絡等にて集まりは落ち着き次第参加を心掛けております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献は大きな課題の一つになっております。地域のケアマネジャーとの交流を持ちながら、迅速な対応にて、お困りな方たちの支援を務めていきたいと思っております。運営推進会議は、コロナウィルスの為に会議活動は中止され活動報告書を上げて送付いたしました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウィルスの為、納涼祭は中止にて、ご家族には、文面にてご報告をさせて頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	対面での交流が難しい時ですが、文面や電話等で連携を図る努力をしています。また衛生用品等の御協力も頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠を含め、身体拘束は行われてません。身体拘束の必要にならない様に、常に職員同士の連携にてご利用者が、不穏状態にならない様に対応の強化、常に色々な取り組み方を行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について年2回研修を取り入れてます。内容的には心理的虐待が主ですが、言葉の掛け方、対応、顔の表情など、十分注意を払う必要があると思います。起きた場合は迅速な対応を心掛けております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や一部の職員は青年後見人との相談や話の中で様々な学ぶ機会がありますが、今後は今以上に日常生活自立支援や成年後見人制度を利用される方が増える事を考えると、すべての職員に制度を学ぶ機会を増やさなくてはいけないと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては先を見越した説明も交え説明・納得をしていただき、利用者様の不安等も引き出す努力をしています。しかし今年度初めも契約書や重要事項説明書が改訂され、今後は毎年不具合部分の改訂を行うことから、自身への書面の理解を深めなければいけないと思っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	新しく発足されたばかりとコロナウィルスの為に面会等が制限にて、毎月送付の生活状況の報告、ご家族に電話連絡にて対応。問題等は迅速に連絡を入れる様に心掛けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議でやまぼうしのユニットと色々な問題点を話し合い、お互いのユニットにリーダー会議の内容を再度各ユニットで把握して頂いております。申し送り時に常に職員の意見に耳を傾け、問題点、起きてしまった出来事の対応をいつも心掛けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	新しく、開設されたばかりなので、職員には常に丁寧な仕事として頂ける様に取り組んでおります。設備等に問題点、使用にての問題点など、常に報告にて管理者に相談にて迅速に対応しております。フルタイムの職員不足が課題になっております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部内部研修・外部研修・自事業所内部研修と研修の場は多く提供されています。上司からは外部研修は特に研修内容も当然大事ですが、研修に参加することで多くの人との繋がりを持つよう研修参加を進められています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年4回の介護保険連絡会には必ず参加をさせていただき、各事業の方々との交流を深めています。また地域密着の運営推進会議では、各事業所の方々が行き来をし、サービス向上に大きく役立っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活歴、病歴等を把握、常に傾聴に重点を置きその方に適した声掛け、対応の支援を行わせていただいております。このあたりまえが守れば自ずと信頼関係が出来、ご本人の安心につながると考えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアプランを通しご家族様からの要望や相談を受けています。ご家族様との関係は、良い話だけでは信頼関係を築けなく、現実や先の話も織り込みながら親身に話すよう心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今ご本人様がどこでどう暮らすのがご本人のようになるのか常に考え、ご本人・ご家族共に困りグループホームでの生活を選んで頂いた以上、最善の方法を常に考えています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する者、介護される者・友達関係でもなく、分かり合える関係を目指しています。その方の話を傾聴し、ごまかしでない話・声かけを心がけています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	まだ、発足したばかりで今はご家族様に信頼を持って頂ける様に頑張っております。常にご家族の要望に対応、こちらからの要望をご連絡にてより良い、対応にて信頼と安心感を持って頂ける様な関係を気づければと考えております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	通院は、ご家族が出来ない為に施設側で対応、現在はコロナウィルスの為、必要以上の外出が制限されている為に、面会も玄関での対応しております。コロナウィルスが、治まり次第、外食、外出などが出来るように支援に努めます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	現在のご利用者は、色々な事にあまり拒否無く参加して頂けてますので色々な体操、卓球、ボーリング、フーセンバレー、バトミントン、トランプゲーム、玉入れなど出来る限りの運動を交え、他書道、粘土細工、ぬり絵、壁飾りなど、体調を考慮しながら参加して頂いております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現実的には、グループホームを何らかの事情で退居されても、当施設に住所を置かれている方もいらっしゃいます。すると郵便物も届き、結果繋がりが続く場合があります。先日は訃報が届き、成年後見人と私の2名のみの葬儀もありました。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	画一的なケアでなく、利用者一人ひとりが歩んできた歴史や生活スタイルも違うので、本人や家族、ご友人などからより多くの情報を習得にて、個別化を図るようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者や家族から趣味や得意とすること等情報を得ながら、居心地のいい環境づくりやいつまでも馴染みの暮らしが出来るように持ち物等で居住環境を整えるように配慮している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活がその人にとって充実し、満足のできる一日になる様にやりたい事や出来ることへの拡大を図りながら、ともに楽しむ生活づくりができるようにケアプランにも繁栄しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランのチェック表やケアカンファレンス等で状況の変化に応じた個別性に配慮した目標提示がされているか話し合いをしながら再確認をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に気づきの報告書をあげ、それに基づきケアカンファレンスしながら状況の変化に対応、見直しをしているとともにケアプランチェック表でも介護計画の見直しに役立てております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	大きな状況の変化や問題が生じた時は、会議を開催して家族の意向や状況等を話し合い、常に個別性に配慮できるように細やかに取り組んでいきたいおもいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全で豊かな暮らしができるように個人の持っている生活技術を活用するとともに心身の力を発揮できるように、すこしでも可能性を引き出す生活づくりの支援をしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との信頼関係には、先生を立てつつ様々な相談にも応えていただいています。また、訪問看護との橋渡しも記録に残し努力しています。入居者様の中には協力医の往診を断られる方もいますが、ご本人や家族の希望にも最大限応えられるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師との報・連・相もやはり記録を残し、職員間で共有できるようにしています。また、看護師からの目線と介護職員の目線の違いなど、お互いに知識を深めあうことができているかと思います。また訪問看護師と職員で、年2回の会議の時間を持っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療関係者とは営業も兼ね、常に関係づくりに努めています。入院に関しては入居者様が、今どこで治療やリハビリを受けるのが相応しいか、常に考えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当施設では看取りを行うことができないため、入居前からご本人やご家族様には重度化や終末期に関しては、十分な説明を行っています。また、入居者様が今どこで生活を送ることが相応しいか、ご家族様には伝えていきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や初期対応に関しては法人内での研修にも盛り込んであります。主治医からも各入居者様であり得る急変や注意もいただき対応できるように努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策については、町とも協議し災害マニュアルを作成してあります。町内会も含め食料備蓄も当然ながらしてありますが、入居者様の薬についても10日間程度の余裕を持たせています。また、当施設は箱根町との契約で箱根町災害緊急避難場所に指定されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人ひとりとの信頼関係を築きながらも、とり巻く状況や行動をよく理解して、今その人に合った言葉かけをするように努めております。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりその人に合ったコミュニケーション方法を取り入れながら、話題の中でも自己決定が出来るように支援しております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その時の状況や様子を見ながら、その人が望むことへの支援と一人ひとりに合ったペースを大切にしながら過ぎて頂き、色々なレクをこちらから提案にて楽しんで頂ける様に日々に取り組んでおります。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じたご自身の希望に合った服装を選んで頂き、身だしなみや清潔にも気をつけ、選べない場合は、職員が対応を行っております。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	皆様で作上げた食事をご自身の力で常食で味わい楽しい食卓を作り上げ、出来立て、色々な物を召し上がって頂けてますので、ご利用者のご要望で召し上がりたい物をメニューに入れ食事を楽しんで頂ける様に努力しております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全量召上がって頂くように声かけを多くしながらも無理強くない見守る様にしております。また偏りのないよう栄養士や看護師からも意見を聞き、メニューの工夫もしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	現在は、訪問歯科の診療は受けておりませんが、近々受ける予定でおります。食後は声掛けにて、義歯を洗って頂き、うがいをして頂き、常に口腔内の清潔を保って頂く様に、声かけをしております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄リズムを見られる方が現在無く、ご利用者が行かれる時に見守りながら、パット交換、失禁等は介助、なるべく職員の加入は最低限度に心掛けております。ご利用者様にとっても介助を拒否される方が、おりますので少し離れたながらも近くで見もりながら信頼を得ております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来る限り、運動して頂き活動して頂き、水分摂取をしっかり飲んで頂ける様に声掛け、色々な飲み物の対応にて飲んで頂く。主治医と相談にて薬の変更、量の変更など、こまめに相談にて努力しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	色々な声掛けにて拒否無く入って頂ける様にと工夫、温泉だけでなく、バス入浴剤を取りれたり、しょうぶ、ゆずなど色々季節に合わせて楽しんで頂ける様に努力しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者のペースを尊重しつつ、安心して気持ちよく、生活出来るように支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援については、まずは誤薬について責任の重さを理解してもらっています。常に1年から2年ごとに2名の薬担当者の役割を持ってもらい、主治医の指示連携に正確に対応されていると思います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	コロナウィルスの為、大きなイベントは出来ませんが、6月誕生日会、焼肉、7月お祭りの気分を味わって頂ける為に、ソーメン流し、スイカわり、お好み焼き作り、射的などのゲームを行い、少人数ながらも楽しんで頂ける様に支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	コロナウィルスの為に病院以外の外出が出来ない為、天気が良い日は散歩を心掛けております。コロナウィルスが落ち着き次第、外食、外出などを企画にてご家族にも声掛けにて参加して頂ける様に支援していきたいと思っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お一人の入居者様が金銭を持たせております。コロナウィルスの為、外出制限されている為に金銭を使用する機械が無い状態です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在はそこまでの支援にたどり着かず、正月等の年賀状は、書いて頂ける様に支援したいと思います。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは常に清掃や消毒を実施し居心地の良いスペースをと心がけています。掲示物も四季を通し変更し感じ取っていただくよう努力しています。またテラスでは気軽に外気浴もでき、プランターに花を植えを皆様にも花の開花を楽しんで頂いております。天気の良い日は、ベランダの椅子に座って頂きお茶を提供にて楽しんで頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	午前中は色々な体操をインターネットで検索にて体を動かして頂き、天気の良い日は午後は散歩して頂き、室内で体調、意欲など問題ない場合は卓球、玉入れ、バトミントン、すごろくゲームなど、観たい映画がご要望があれば映画鑑賞して頂き、職員も含め一緒に感動を味わって頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的にはすべての物を自宅から持参していただいています。それぞれの居室には誕生会で作った入居者様の名前・生年月日・年齢の書かれた絵、七夕の短冊など居室の壁に貼らせて頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者皆様それぞれの出来る事の発見をカンファでも話し合い、出来ないことへのお手伝いをさせていただいています。今入居者様が何を求めているのか、「できることは自分でやってください」と勘違いしないことが大切だと思います。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム泉の郷仙石原
ひめしゃらユニット

作成日

令和2年11月26日

〔目標達成計画〕

優 先 順 位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	12	ひめしゃらユニット開所10か月経った今でも職場環境の面では足並みが揃っていない（介護未経験者が半数）。	業務及びケアの統一。	コロナウィルスの影響で開所より9月まではリーダー会議は少人数で行っていましたが、職員会議は中止をしていました。10月からは三密を回避し行うようになり統一一步前進しました。	4か月
				今後も職員の統一に努め良いユニットにしています。	

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム泉の郷仙石原
ユニット名	やまぼうし

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ひたむきに「しあわせ」の「和」をひろげ、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくる。また6つの規範を守ることにより基本理念を尊重し、社会貢献に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の世帯も減少を続ける中に加え、コロナウイルスによる自粛もあり、自治会の総会等集まりは控えておりますが、地域の定期清掃には参加させていただいております。日常的にも挨拶は欠かさないように心掛けております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	箱根町の高齢化率も進む中、土地柄もあり、まだまだ家族は認知症の高齢者を隠す傾向にあると思われます。今後は真剣に事業所の力を活かせるように、もう少し柔軟にわかりやすいアピールで地域貢献に努めていくことだ考え、今後大きな課題のひとつでもあると思っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス渦にあり、感染予防の為外部との交流も避けておりますが、電話等で報告や意見等お伺いして、今後のサービスの向上に努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナウイルスによる自粛もあり、なかなか会議や情報交換の場には出席できませんが、市町村関係者や協力関係者とは電話等で連絡を密にとり意見交換をさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠を含め、身体拘束はありませんし、身体拘束の必要性がある時は違う方法をとる工夫をしております。しかし言葉による声掛けが気づかないうちに身体拘束に当たる言葉になっていることもあり、研修のひとつに取り入れております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については自事業の研修で年2回取り入れております。 内容的には心理的虐待が主になっておりますが、言葉かけには十分注意をしてもらう必要があるかと思っておりますとともにその場での注意を心がけております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や一部の職員は成年後見人様との話し合いや相談等でいろいろ学ぶ機会もありますが、今後は今以上に日常生活自立支援や成年後見人制度を利用される方が増えると予測されるので、すべての職員が制度を学ぶ機会を増やさなくてはいけないと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては先を見越した説明を交えながらも説明、理解、納得をして頂く中、利用者様の不安を引き出す努力もしております。 今後契約書や重要事項説明書の改訂も行われることから、自身への書面の理解を深めなければいけないと思っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族やご利用様には日ごろから意見や不満等を引き出さないといずれ大きな苦情になると考えております。今は意見や要望等はコロナウイルスの為、ご面会や運営推進会議が出来ない為、直接意見等は頂けませんが、電話での話の中で皆様の情報や意見を聞き、運営に役立てています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月リーダー会議を行い、その後ユニットに持ち帰り職員の意見を聞かせて頂いております。時には法人上司が来苑されたときには、直に相談や意見の提案等でモチベーションのアップに繋がっております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員各自に役割をもって意欲的に勤務して頂いております。本年度3月より2ユニットになり、不具合場所も大規模に整備して頂いております。給料面においても今まで以上に制度の改訂、アップに繋がっていると思いますが、職員不足がまだまだ課題となっております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部内部研修、外部研修、自事業内部研修と昨年度まで研修の場は多く提供されておりましたが、現在はコロナウイルス感染防止のため、自粛しております。今後少しずつ状況をみて参加できるところから進め、トレーニングしていきたいと思っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年4回の介護保険連絡会には必ず参加させて頂き、各事業所の方々との交流を深めています。また地域密着の運営推進会議では、各事業所の方々の行き来をし、サービスの向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアプランを通し、ご家族様からの要望や相談を受けています。ご家族様との関係は、良い話だけでは信頼関係は築けなく、現実や先の話も織り込みながら親身に話すように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の今までの生活歴を把握したうえで、話しかけや関わる時間を多く持つようにしており、また傾聴することにも重点をおき、一人ひとりに合った声掛けや対応をするというような、あたりまえの事を守れば自ずと信頼関係が出来き、ご本人の安心にも繋がると考えております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今ご本人様が何処でどう暮らすのがご本人様の為になるかを常に考え、最終的にグループホームでの生活を選んで頂い以上、最善の方法を常に考えています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する者、介護される者と区別するのではなく今ここで暮らすことで傾聴やごまかしの無い話でお互いの信頼関係を築くように心がけております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在の職員不足のカバーも含め、ご家族様にも協力を呼びかけております。ご家族のご面会では普段職員に見せる面と違う面も多く見られ、やはり家族だなど思うこともあります。ご家族には行事等にも参加して頂き、みんなで良い関係を築ければと考えます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や通院等は極力、ご家族様にお願いしております。外出ではご自宅に寄るようお願いしておりますが、現実的にはなかなか難しいところもあり、ご家族様のご理解も必要と考えております。ご家族様対応の難しい場合はご本人のご希望で選挙等なども同行しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ゲーム等はできなくても、歌・音楽は利用者みんなをひとつにしてくれています。当然ながら職員の橋渡しも必要な場合も多々ありますが、利用者同士のコミュニケーションが少しでもとれるように努力しております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現実的にはグループホームを何らかの事情で退居されても、そのまま当施設に住所を置かれており、当然郵便物も届き、連絡することで、お互いの情報を交換することもでき、その結果つながりも持っています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	画一的なケアではなく、利用者一人ひとり歩んできた歴史や生活スタイルも違うので、ご本人やご家族様より情報を得ながら、個別化を図るようにしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様やご家族様より趣味や得意とすることなど情報を得ながら、居心地のいい環境づくりやいつまでも馴染みの暮らしができるように持ち物等で居住環境を整えるように配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活がその人にとって充実し、満足のできる一日になるようにやりたいことやできる事への拡大を図りながら、共に楽しむ生活づくりができるようにケアプランにも繁栄しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランのチェック表やケアカンファレンス等で状況の変化に応じ、個別性に配慮した目標提示がされているか、話し合いをしながら再確認をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に気づきの報告書をあげ、それに基づきケアカンファレンスをしながら状況の変化に対応、見直しをしているとともにケアプランチェック表でも介護計画の見直しにやくたてています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	大きな状況の変化や問題が生じた時は、会議を開催してご家族様の意向や状況等を話し合い、常に個別性に配慮できるように細やかに取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全で心豊かな暮らしができるように、個人の持っている生活技術を活用すると共に、身心の力を発揮できるように、少しでも可能性を引き出す生活づくりの支援をしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との信頼関係には、先生を立てつつ、いろいろな相談に応じて頂いております。また、訪問歯科や訪問看護との橋渡しも記録に残し努力しております。入居者様の中には協力医の往診を断られる方もいますが、ご本人やご家族様の希望にも最大限応えられるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師との報・連・相も記録を残し、職員間で共有できるようにしております。また、看護師からの目線と介護職員の目線の違いなどで、お互いの知識を深めあうことが出来ていると思います。また、訪問看護師と職員との年2回、会議の時間を持っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療関係者とは営業も兼ね、常に関係づくりに努めています。入院に関しては入居者様が今どこで治療やリハビリを受けるのが相応しいか、常に考えております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当施設では看取りを行うことが出来ないため、入居前からご本人やご家族様には重度化や終末期に関して、十分な説明をしております。また、入居者様が今どこで生活を送ることが相応しいかもご家族様には説明をしております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や初期対応に関しては法人内での研修にも盛り込んでおります。主治医からも入居者様それぞれあり得る急変や注意も頂き、対応できるように努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対応については、町とも協議し災害マニュアルを作成しております。町内会も含め食材備蓄も当然ながらしてあります。また入居者様の薬についても10日間程の余裕を持たせております。当施設は箱根町との契約で箱根町災害緊急避難場所に指定されております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりとの信頼関係を築きながらも、取り巻く状況や行動をよく理解して今その人に合った言葉かけをするように努めております。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりその人に合ったコミュニケーション方法を取り入れながら、話題の中でも自己決定ができるように支援しております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その時の状況や様子を見ながら、その人が望むことへの支援と一人ひとりに合ったペースを大切にしながら過ごして頂いております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じた服装やご自身のご希望の服装を選んでいただき、身だしなみに気を付け、汚れた時は着替えて頂き清潔にも気をつけております。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	皆様で作った食事をご自身の力で常食で味わい楽しい食卓を作りたいと思いますが、最近では食事形態も変わり、職員不足からも以前に比べて食事の質が低下していると感じております。食事に関しては大きな課題と受け止め改善に努める努力をしております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全量召上って頂くように声掛けを多くしながらも無理強くない見守るようにしております。また、偏りのないよう栄養士や看護師からも意見を聞き、メニューの工夫もしております。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科のドクターや歯科衛生士からの助言を頂き、口腔内の衛生、ケアに努めております。歯ブラシや義歯ブラシなどは訪問歯科で用意、管理して頂いております。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限り、リハパンやおむつを使用しない自然体で過ごせるように排泄リズム表を確認しながら、トイレにお誘いして自立排泄を促しております。また、パット使用者であっても一人ひとりの排泄リズムをみながらトイレへの誘導を行い、排泄を促しております。			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動は難しくなって来ておりますが、それぞれできる動きは行って頂いております。食品では個々に合ったオリゴ糖や牛乳、ヨーグルトなどを使っております。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様によっては、男性職員の介助が必要となることもあり、職員の都合での入浴が決められることもありましたが、現在はユニットバスの改修、手摺やシャワーチェアも用意され、安全でご希望に沿った入浴が出来ております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	以前は皆さんでレクをすることが最優先と考えておりましたが、現在は個々のペースを尊重しつつ生活を送れるようお手伝いをさせて頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬についてはまずは誤訳についての責任の重さを理解してもらっています。常に1年から2年ごとに2名の薬担当者の役割を持ってもらい、主治医の指示、連携に正確に答えられています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	四季を感じて頂き、時には非日常的なイベントを常に考えておりますが、役割の面では難しくなってきました。気分転換に関しては外部からの提案も参考にさせて頂き、ウッドデッキを活用し、温泉での足湯や女性にはネイルやフェイスパックが好評になっております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	外出に関してはご家族の協力で出かけることが出来ておりますが、それでも一部の方々に、まだに様々に満足いく支援が出来ていないと反省をしております。 「外出は無理だよね」という固定観念を変えていく必要がまだまだあると思っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在一名の入居者様が金銭を所持し、外出の際の買い物や通販を利用しております。高価な通販も利用することもあり、支援は欠かせないと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りはほとんどありませんが、届いた手紙、年賀状はその方に読んで差し上げております。その上では電話でのやり取りには支援させて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のスペースは常に清掃や消毒を実施し、居心地の良いスペースをと心がけています。掲示物も四季に合わせて変更し、それぞれ四季を感じて頂くように努力しています。またウッドデッキでは気軽に外気浴もでき、家庭菜園を行い、皆様にも土を触って頂いております。課題は安全のためにも整理整頓が維持できないことにあります。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	午前中は皆様定席で過ごされることが多いと思います。午後からは思い思いの居室で過ごされる方もおりますが、そのまま残られた皆様は職員の橋渡しでテーブルを囲み思い思いのお話をされることもあります。また、ユウチューブで懐かしい映画を楽しむ方もおります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的にはすべての物を自宅から持参して頂いておりますが、現在は家族に相談し、全室電動ベットに入れ替えさせて頂いております。それぞれの居室には誕生日会で作った入居者様の名前、生年月日、年齢の書かれた絵を貼らせて頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様それぞれのできる事の発見をカンファでも話し合い、できないことへのお手伝いをさせて頂いております。今入居者様が何を求めているのか、「できることは自分でやって下さい」と勘違いしないことが大切だと思います。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム泉の郷仙石原
やまぼうしユニット

作成日

令和2年11月26日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	ご利用者様9名中3名がミキサー食対応で、グループホームは介護職員が食事作りを行うため、常食とミキサー食で大きな違いができてしまう。	ミキサー食対応の利用者様にも五感の感じ取れる食事を提供したい。	法人本部の調理師などの指導を受け、ムース食や材料を柔らかくする方法を取り入れたい。	6か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。